

美幌町災害廃棄物処理計画（概要版）

1. 計画の背景及び目的

（1）背景

国は平成 26 年に「災害廃棄物対策指針」を示しており、本町においてもこの度計画を策定するものです。なお、策定にあたっては国が定めるワークシートに準じます。

（2）目的

- ・災害廃棄物を適正かつ迅速に処理すること。
- ・廃棄物に起因する初期の混乱を最小限にすること。

2. 対象とする災害

○想定する地震：標津断層帯地震（最大震度：5.9）

○想定する水害：網走川及び美幌川の氾濫

3. 対象とする廃棄物

種 類
可燃物、可燃系混合物、木くず、畳・布団、不燃物、不燃系混合物、コンクリートがら等、金属くず、廃家電（4品目）、小型家電、その他家電腐敗性廃棄物、有害廃棄物、危険物、廃自動車等、その他適正処理が困難な廃棄物

4. 処理の基本方針

（1）対策方針

方 針	内 容
衛生的かつ迅速な処理	大規模災害時に大量に発生する廃棄物は、生活環境の保全及び公衆衛生上の支障が無いよう、適正な処理を確保しつつ、円滑かつ迅速に処理することとし、状況に応じて可能な限り短期間での処理を目指す。
分別・再生利用の推進	災害廃棄物の埋立処分量を削減するため、分別を徹底し、再生利用、再資源化を推進する。
処理の協力・支援、連携	本町による自己処理を原則とするが、自己処理が困難であると判断した場合は、都道府県や国、他地方自治体及び民間事業者等の協力・支援を受けて処理する。
環境に配慮した処理	災害廃棄物の処理現場の周辺環境等に十分配慮して処理を行う。

（2）処理期間

発生から概ね 3 年以内の処理完了を目指しますが、災害の規模や災害廃棄物の発生量に応じて、適切な処理期間を設定します。

5. 災害廃棄物の発生想定量と必要となる仮置面積

	災害廃棄物発生量(t)								仮置場 必要面積 (㎡)
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	津波堆積 物・土砂	その他	合計	
標津断層帯地震	379	379	1,095	139	113	0		2,105	1,913
網走川・美幌川氾濫	9	145	21	1	4	25	1	206	188

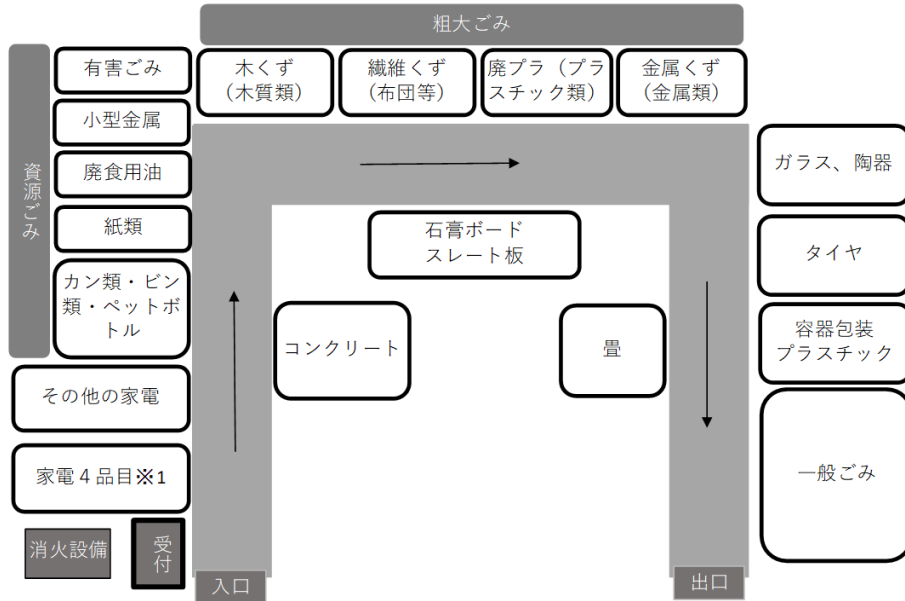
6.仮置場候補地の選定

災害廃棄物は膨大な量になることが見込まれるため、直接処理施設への搬入が困難となることが想定されることから、仮置場候補地を下記のとおり選定します。

名称	所在地	概算面積(m ²)
旧美幌中学校(前庭)	美幌町字東3条南5丁目1	3,200
車両センター	美幌町字報徳79番地1	7,000

7.仮置場のレイアウト

災害廃棄物の発生状況や受け入れ先に合わせて品目を決定するとともに、選定した用地に合わせた適切な配置を検討します。



8.災害廃棄物処理フロー

災害廃棄物は、一次仮置場に搬入し、必要に応じて粗選別を行い二次仮置場に搬入します。その後、中間処理を行い、再資源化・最終処分を行います。

